

# 行事

11月

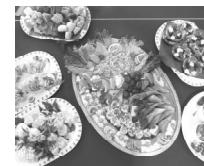
大和ウインドシンフォニアの皆さんによる、迫力あるオーケストラ♪



大和ウインドシンフォニアへ  
ご家族から寄せられたコメント抜粋

わたしは88歳です。入所中の妻と一緒に聴かせていただきました。わたし達にとって親しみのある曲を何曲も演奏していただきました。とても感嘆いたしました！躍動感溢れる指揮者の方にも大変感動しました。チャンスがあったらまた演奏を聴きたいです！本当に素晴らしい演奏でした。演奏会から10日程たちましたがまだその余韻に浸っております。ありがとうございました。【S様 夫】

12月



ディケアではKanaKanaさんによるバイオリンとピアノのコンサート他、いろいろな皆さんにクリスマスの催しをしていただきました。

1月



行事の獅子舞が中止になってしまい、かわりに内輪でカルタや福笑いなど、正月遊びをしました。

# お知らせ

ご入所者へ医療保険証の再提示のお願い

施設では、他科受診や歯科受診等で、医療保険証が必要になる場合があります。ご入所の際に医療保険証の写しを頂いておりますが、有効期限が過ぎていることもありますので、ご面会の際は、医療保険証をご提示くださいようお願い致します。



# 編集後記

寒さもいよいよ厳しくなり、大好きなバイクに乗る機会がめっきり減りました。そんな時はバイクを磨いたり新しい部品を付けたりしながらストレス発散しています。実際バイクを手入れしていると気分が盛り上がり、結局乗ってしまうことがあります。身体は芯まで冷えますが、出先で取る温かい食事や飲み物がいつもより一層美味しく感じられます。でもやはり、春の訪問が待ち遠しくて仕方ありません。（岸）



発行 医療法人社団康久会 介護老人保健施設グリーンワーフ東戸塚 広報委員会  
〒244-0805 横浜市戸塚区川上町151番地 TEL 045(827)1141 FAX 045(827)

<http://www.greenwharf.com/>



# みどりの風



No.70 平成29年 2月号

## 防災特集 ~備えあるほど増す安心~

グリーンワーフ東戸塚の防災委員会では、年2回(うち1回は夜間、もしくは夜間想定)の避難訓練の実施と共に、災害に備えた対策の検討、備蓄管理などを行なっています。今回は様々な取り組みの中から、横浜市民防災センターでの施設外研修、二次的被害を防ぐ備蓄管理や固定ベルトについて紹介させていただきます。

### ●横浜市民防災センターでの研修

施設外研修として、防災委員会のメンバーが横浜市民防災センターへ行なってきました。防災センターは、様々な災害について体験しながら学べる市内唯一の防災学習施設です。地震シミュレーターでは、東日本大震災の揺れを体験しました。想像よりもはるかに強い揺れで、震災時の行動として、まず自分の身の安全を守らないと、ご利用者様の安全を守れないと痛感しました。その他にも煙体験、横浜市のハザードマップを紹介するブースなどを見学し、災害の恐ろしさと共に、改めて日頃からの準備や訓練の重要性を感じました。

### ●災害時の備蓄管理

防災委員会では災害時に物品等に困る事のないよう非常食、懐中電灯、オムツ等の備蓄管理を行なっています。1カ所に備蓄すると被害の状況によって取りに行けない事が想定されるため、各階に備蓄を分散しています。各管理場所には、備蓄品目と管理場所が分かるように、表にして貼り出しています。特に非常食については、災害時にどのような食事を提供すればいいか分かるように、3日間の献立を作成しています。



非常時の備蓄と  
災害時の非常食献立

また、当施設は横浜市と『災害時特別避難場所』として協定を結んでいます。災害時に地域の方々に配布するパンや白飯、毛布などの備蓄の管理もしています。

①



②



### ●固定ベルト

日頃から施設の何処が危険なのかを考え、地震による事故や二次的被害の防止に努めています。例えば、棚や冷蔵庫には引き戸ロックといったゴムのベルト(写真①)を取り付け、物が飛び出るのを防止したり、テレビやピアノといった大きな物には長さの調節ができる固定バンド(写真②)を付けています。

また、災害時にドアが歪んで開けられない状況を避けるため、各居室のスライドドアにはゴムバンドを使用し、開放を保持るようにしています。

今後もご利用者様と職員の安全の為に、より安心して過ごして頂けるように取り組んでいきたいと思います。

【防災委員会 委員長 飯田】



# ストップ！ノロウィルス！

ノロウィルス(感染性胃腸炎)は感染力が強く、急速に拡大して二次感染を引き起こしています。感染経路は二枚貝等の食品から感染することが有名ですが、感染者の吐物や便の中のウィルスが手に付着して口に入るほか、残った吐物や便が乾燥して空中から口に入ることでも感染します。ごく少量のウィルスでも感染する、強い感染力を持っています。下痢や嘔吐の症状が現れますか、症状が治まってしまいしばらくは便の中にウィルスが保有されている可能性もありますので十分な注意が必要です。ノロウィルスの予防には、吐物・便などの適切な処理と、次亜塩素酸ナトリウム(ハイター等)の消毒、食品の十分な加熱が重要です。

## ノロウィルス(吐物・汚物)処理法

●消毒液の作り方：500ccのペットボトル1本にキャップ1杯5ccの次亜塩素酸ナトリウム(ハイター等※漂白作用があるの使用場所に注意)を入れ、水を混ぜ作る。アルコール系の消毒液はノロウィルスには効きません。



①マスク・手袋・エプロンを着用し、処理をする人以外が近づかないようにします。



②消毒液をかけ、5~10分置く。ウィルスが空気中に浮遊する可能性があるため、換気しながら行なう。



③新聞紙などで外側から内側に向けて折り込みながら静かにぬぐい取り捨てる(こすると汚染を広げるので、こすらない!)。



④汚物があった場所に消毒液を噴霧し、消毒液を染み込ませた新聞紙等で覆い浸す(ウィルスの空気中浮遊を防ぐ為)。5~10分したら水拭きする。



⑤使用した布や新聞紙等は、すぐにビニール袋に入れ、消毒液を吹きかけて、口をしっかり縛る。



⑥処理後は厳重な手洗い、うがいをする。他の人が触れないように注意書きをするなど工夫し、速やかに破棄する。

●トイレ掃除：手袋とマスクをして、上記の消毒液を含ませた布で、便器、周辺、ドアノブ、水洗レバーなど直接手で触る場所は入念に拭く。その後水拭きする。タオルも共用にしない。

●衣類・寝具の処理：吐物や便のついた衣類やタオル、シーツなどは塩素系の漂白剤に30分つけ置き消毒してから洗濯する(漂白作用があるので注意)。他の人の物とは別に洗濯する。

グリーンワープでは、全職員を対象に感染防止の研修を年2回実施しています。ノロウィルスに『かからない』『ひろげない』よう、皆で注意していきましょう！【看護部】



# お馴染みさんって落ち着くね グルーピングケア✿

当施設の1階フロアでは、グルーピングケアを行なっています。グルーピングケアとは、少人数でグループを作り、活動に参加する事で他のご利用者様や職員との「馴染みの関係」をつくる取り組みです。馴染みの関係の中で活動に参加することで、自立支援を促し人生の質の向上を目指しています。実際の取り組みを、写真と共に紹介させていただきます。

## ✿季節のお料理



春には苺を使って苺サンドを、秋には栗を使用しモンブランを、皆で作って食べました！季節の食材を使って四季を感じます。

## ✿ドッグセラピー



動物愛護週間に伴い、2頭の可愛い犬を迎えて触れあいました。

## ✿お買い物



お茶会などに使う材料を皆さんと一緒に近くのスーパーに買い物に行きました。職員のサポートの元、選ぶところから会計までご利用者に行っていただきます。

## ✿お茶会



クリスマスには、皆でツリーなどでフロアを楽しく飾り付けました。その後はコーヒーと、お買いもので買ったお菓子でお茶会です。決められたグループ毎に開かれるお茶会で、お馴染みの顔がそろいます。

このような繋がりを定期的につくることで、ご利用者様同士、またご利用者様と職員の間に馴染みの関係を作り、『寄り添うケア』を目指しています。【1階フロアリーダー菅原】